



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2022年
9月16日
発行

第148回

「国民国家はあきらめない」

～ロシアがウクライナに勝てないわけ～

初めに

国民国家、という言葉をご存知でしょうか。これは、国民意識を持った平等な市民が国家を構成する、という理念であり、国家です。フランス革命後のフランスが最初の国民国家といわれています。

国民国家は戦争に強い、という指摘があります。革命後のフランスが欧州主要国を相手に一国で互角に戦ったことを考えると、この指摘もうなずけます。当初は苦戦しましたが、今は逆に優勢に戦うウクライナには、国民国家の強さを感じます。今回はウクライナ戦争についてお話しします。

ロシアはどこでつまづいたのか

当初はウクライナの首都キーウを爆撃するなどロシア軍優勢と思われましたが、次第に戦争は泥沼化します。黒海艦隊の旗艦モスクワの喪失などもあり、ロシア楽勝というムードは消え始めました。そうした中、戦況に大きな影響を与えたのは、米国による高機動ロケット砲システム「ハイマース」の提供です。それまで長距離ミサイルを持たないため空中戦に苦戦していたウクライナは、一気に優位に立つことになりました。これが、ウクライナ戦争での転換点になったと思います。

ロジスティクス軽視が失敗

戦争勃発からこれまで一貫してロシアの失敗といえるのがロジスティクスの軽視です。おそらく戦争は短期に終了とみたのですが、予期せぬ長期化で補給が滞り、戦線を維持することが難しくなっているように思えます。古代中国の兵法家である孫子も、遠征時に兵站（たん）を軽視することを戒めています。これはロシア軍の失敗でもありますが、それを引き出したのはゼレンスキー大統領をはじめとするウクライナ軍の健闘です。これがあったからこそロシア軍が補給に苦しむことになった、これが国民国家の力だと思います。

今後の見通し

プーチン露大統領にとって、戦争を続ける道は難しくなりつつあると思います。ロシアの地方議会では反プーチンの動きが広がっており、モスクワなど18の地区の地方議員が連名でプーチン大統領の辞任を要求する声明を発表しました。こうした状況を考えるにつき、ロシア・ウクライナ双方ともかなり疲弊していることから、年内には戦争は終結すると見ています。その場合、株式市場にとっては上昇要因になりますし、また、穀物流通の正常化が期待できることから、インフレを抑える効果があると考えています。



チーフストラテジスト
門司さんにきいてみよう!



西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。